

C 2021/10/30(土) 13:50-16:50

すぐに実践できる！臨床検査値を活かした処方鑑査と服薬指導 ～改正薬機法に対応するために～

講座情報

2020 年 9 月、改正薬機法が施行され、服用期間を通じた薬学的管理が義務化されました。本法の趣旨は、薬剤師に臨床薬剤師としての行動・能力を求めるものです。これからの薬剤師は副作用を含む病態の経過を予測する力が求められます。どうしたら良いか、間違いなく臨床検査値（検査値）の活用です。検査値の推移を予測し、異常値に伴う症状を患者から聴取することで、副作用の早期発見を行うことができます。さらに、患者は早く帰りたいがり、医師は疑義照会を嫌うため、疑義照会に難渋することは多いと思いますが、検査値の活用はこれを一変させます。本講座では、腎機能・肝機能・電解質・血算など、基本的な検査値を症例ベースで解説します。

《学習到達目標》

- ・ 臨床検査値は、推移、重症度評価、異常値に伴う症状確認を基に評価することを理解する。
- ・ 改正薬機法で義務化された服用期間を通じた薬学的管理を実践するためには、臨床検査値の推移を予測できるようにトレーニングする必要があることを理解する。
- ・ 副作用の早期発見を行うためには、想定以上に臨床検査値が変動する可能性を念頭に置いて服薬指導とモニタリングを行うことが重要であることを理解する。
- ・ 緊急性は低いものの処方医に伝える必要がある情報のフィードバックの手段として、トレーシングレポートが有用であることを理解する。

講演者情報

横山 威一郎

千葉大学医学部附属病院 薬剤部

プロフィール

2003 年 共立薬科大学薬学部 卒業

2005 年 共立薬科大学大学院薬学研究科修士課程 修了

2005 年 千葉大学医学部附属病院薬剤部

2014 年 千葉大学医学部附属病院薬剤部 薬剤主任（現職）

2018 年 千葉大学薬学部 臨床准教授（現職、兼任）

受賞

2016 年 BI ファーマシストアワード 2016 優秀賞 『院外処方箋を利用した薬薬連携 ―検査値表示による効果・変化―』

2017 年 FIP World Congress2017(Community Pharmacy Section) The Poster Award 2nd Prize 『Usability assessment of drug-specific laboratory data listed on prescriptions for outpatients in Japan』

山崎 香織

千葉大学医学部附属病院 薬剤部

プロフィール

2005 年 共立薬科大学大学院薬学研究科修士課程 修了

2005 年 千葉大学医学部附属病院薬剤部

調剤室を経て、現在、医薬品情報室に配属

妊娠と薬外来を担当

現在の担当病棟: 婦人科、周産期母性科

所属学会等: 日本医療薬学会

認定薬剤師: 妊婦授乳婦認定薬剤師

著書

THE 薬学的管理 ―臨床検査値を活かした処方鑑査と服薬指導― (薬事日報社 2016)

参考サイト

千葉大学医学部附属病院薬剤部ホームページ(臨床検査値関連研修会資料を掲載)

<https://www.ho.chiba-u.ac.jp/pharmacy/kennsachi1-3.html>